

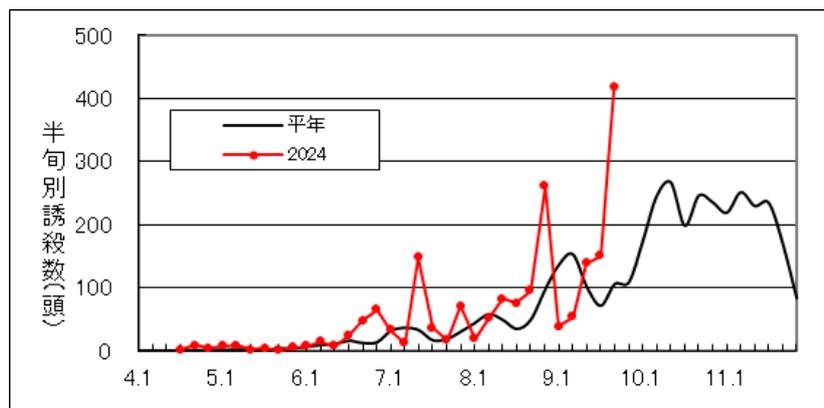
香川県農業試験場病害虫防除所長

令和6年度病害虫発生予察注意報第3号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

令和6年度 病害虫発生予察注意報 第3号

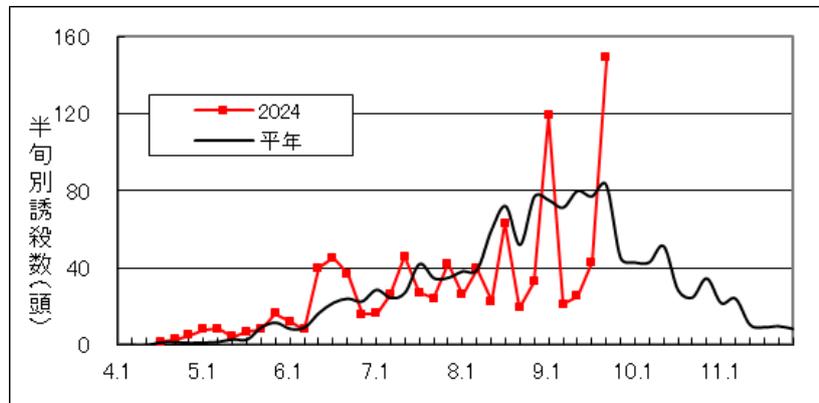
1. 病害虫名 : ハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウ
2. 対象作物 : ハスモンヨトウ: 野菜類、花き類及びダイズ  
シロイチモジヨトウ: 野菜類 (特にネギ、アスパラガス、ブロッコリー) 及び花き類
3. 発生が予想される地域: **県下全域**
4. 発生程度 : **多**
5. 注意報発表の根拠
  - ハスモンヨトウ
    - 1) 綾歌郡綾川町のフェロモントラップによる9月の誘殺数は800頭 (平年: 568.4頭) と多かった (第1図)。
    - 2) 9月下旬に実施したブロッコリーの発生状況調査では、発生圃場率は38.5% (平年: 20.6%)、100株当たり個体群数は24.0 (平年: 2.4) であり、発生量は多かった (第1表)。
  - シロイチモジヨトウ
    - 1) 綾歌郡綾川町のフェロモントラップによる9月の第1半旬と第5半旬誘殺数が平年の誘殺数に比べ多かった (第2図)。
    - 2) 9月下旬に実施したネギの発生状況調査では、発生圃場率は81.3% (平年: 76.9%)、被害株率29.6% (平年: 11.6%) であり、発生量は多かった (第2表)。



第1図 ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数の推移 (綾歌郡綾川町)

第1表 ブロッコリーのハスモンヨトウの発生状況

発生圃場率(%)				発生圃場における個体群数/100株			
年次	9月下旬	10月下旬	11月下旬	年次	9月下旬	10月下旬	11月下旬
2014	4.2	33.3	4.2	2014	1.0	1.4	1.0
2015	13.0	12.5	20.0	2015	1.7	1.3	1.3
2016	58.3	58.3	10.0	2016	1.9	5.1	1.0
2017	4.2	37.5	0	2017	1.0	1.8	-
2018	25.0	62.5	16.7	2018	1.8	2.0	1.5
2019	8.7	25.0	25.0	2019	1.5	4.5	1.7
2020	8.3	58.3	29.2	2020	1.0	7.5	2.0
2021	17.4	37.5	4.2	2021	1.8	4.2	1.0
2022	25.0	25.0	9.5	2022	10.7	0.6	1.0
2023	42.1	23.8	5.6	2023	1.5	3.8	1.0
2024	38.5			2024	24.0		
平年値	20.6	37.4	12.4	平年値	2.4	3.2	1.3



第2図 シロイチモジヨトウのフェロモントラップ誘殺数の推移 (綾歌郡綾川町)

第2表 ネギのシロイチモジヨトウの発生状況

発生圃場率(%)					発生圃場における被害株率(%)				
年次	7月下旬	8月下旬	9月下旬	10月下旬	年次	7月下旬	8月下旬	9月下旬	10月下旬
2014	16.7	23.5	41.2		2014	0.7	0.3	2.2	
2015	11.1	72.2	58.8		2015	1.0	2.3	3.7	
2016	66.7	88.9	83.3	66.7	2016	5.0	19.6	15.3	2.4
2017	64.7	100.0	94.4	47.1	2017	8.8	21.7	10.0	1.2
2018	61.1	93.8	88.9	61.1	2018	3.0	22.8	17.5	4.1
2019	75.0	92.9	100.0	87.5	2019	3.6	6.2	24.2	10.7
2020	73.3	83.3	94.4	68.8	2020	3.1	17.5	5.6	7.5
2021	76.5	60.0	50.0	76.5	2021	3.9	7.7	10.1	2.4
2022	68.8	93.8	81.3	47.1	2022	1.0	10.1	19.0	5.7
2023	28.6	64.3	76.5	50.0	2023	0.6	5.8	8.1	2.5
2024	58.3	81.8	81.3		2024	1.9	9.0	29.6	
平年値	54.2	77.3	76.9	63.1	平年値	3.1	11.4	11.6	4.6



写真1 ハスモンヨトウ卵塊と若齢幼虫



写真2 ハスモンヨトウ若齢幼虫によるブロッコリーの食害



写真3 シロイチモジヨトウ卵塊



写真4 葉身内を加害されたネギ



写真5 ネギ葉身を加害する老齢幼虫

## 6. 防除実施上の留意点

- 1) 若齢幼虫は集団で食害し、その後周囲に分散するので、初期の食害発生に注意し、卵塊や幼虫集団は見つけしだい捕殺する。
- 2) 中老齢幼虫には薬剤の効果が悪ったり、ネギ等では食害して葉の内部に潜り込むと防除効果が低下するので、圃場をよく見回り若齢期に薬剤防除を行う。
- 3) 圃場内及び圃場周辺の雑草は増殖源になるので、除草に努める。
- 4) ハウスの場合は開口部を防虫ネット（4mm目合以下）で被覆し、侵入を防止する。
- 5) 防除薬剤は香川県主要病害虫・雑草防除指針、地域の防除暦等を参考に選定する。
- 6) 一部の薬剤に対して感受性低下が確認されているので注意する（病害虫防除所発表の防除に関する情報(<https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichuboujo/byogaichu/boujo.html>))。
- 7) 作物によって、登録のある薬剤が異なるので、使用にあたってはラベルをよく読んで、登録の有無や収穫前日数、使用回数等使用基準を遵守する。

- ・住宅地等に接した地域及び広範囲に防除する場合は、散布する前に付近住民などに周知するとともに、飛散しにくい農薬を使用するようにしましょう。
- ・農薬散布は、無風又は風が弱いときに行うなど、近隣に影響が少ない天候の日や時間帯を選び、風向き、ノズルの向き等に注意して飛散防止を心がけましょう。

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう

病害虫防除所 インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichuboj/index.html>

